

婦人部報告

四十六

本年度大会は婦人部の設立を起め、日居在りかつたが、要所之が対策をとり遂に第一、第二、委員等は婦人部として既に協議をなしたるの如き大綱を決定し、理事等に委

託し、婦人部を有する各会より婦人委員を出して婦人部を編成

出版をなすべし(特刊の出版の意)準備し、リーフレ

ット、パンフレット等を以て其工場或は時期に送ら

る方法に注意してなすこと、
心宣傳方法 バガールの巡回をなす。
心婦人の集合訓練 は最も実利的方法を處心することとし
衛生講話、おみじの講習会、講演会等を行ふこと

以上

以上の精神に従つて、東京親隣能婦人部の協力を依頼
することとし、左の日に於て共同婦人部集合を関係と

第一回代表婦人部委員会

四月二十八日午後一時より

決定事項

- 一 従来婦人の運動方針をあらためる。
- 二 日本労働組合の発達上、工場労働婦人の団結を特に必要とする、故に労働婦人の真の向上を計るべく其間柄の基礎を打ちねはならぬ。
- 三 左の困難な諸点に特に注意し積極的の運動すること
- 四 集合上の困難なること
- 五 組合にもつと信頼の心を起すこと
- 六 教育上の問題の特殊な取扱以上の目的を漸次果さん